

1.補助系統の概要(△)

系統名	運営主体	運行事業者	区間	キロ程	運行回数	関係市町村
ゆめころん赤ルート	武豊町	知多乗合	武豊町役場～イオン半田店～武豊町役場	11.2 km	3960回	半田市
細系統				km	回	
				km	回	
				km	回	

※「細系統」には、補助上同一系統とみなされている系統について、系統ごとの情報を記載(系統名、区間は他の系統と違いが分かるよう記載)

接続の状況(△□)	模式図
<p><接続する系統></p> <p>名古屋鉄道河和線 東海旅客鉄道武豊線</p> <p><接続される系統></p> <p>武豊町コミュニティバス(ゆめころん青ルート) 武豊町乗合タクシー-老町田ルート、平井畑・祠峯ルート、上ケルート、上山ルート、青木ヶ丘ルート、桜ヶ丘ルート、やすらぎ墓園・原田ルート、長峰・大屋敷ルート、東大高・白山ルート</p>	<p>(△□)</p>

2.H28年度の運行状況

計画どおり運行されたか(△)	評価	計画どおりか。そうでない場合は理由
A		補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。

評価の基準

A → 事業計画どおりの運行回数が確保されている場合

B → 車両故障等運行事業者の責に帰すべき事由により、運休(一部区間の運休を含む)が生じた場合

C → 系統廃止に至る場合

参考数値) 主要指標の推移(△)					
年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数(人)					33,803
平均乗車密度					2.8
輸送量					93.9

目標・効果達成状況			
評価	目標の達成状況(△)	運営主体の所見、理由分析、認識(△)	市町村の所見、理由分析、認識(□)
A	目標	27,590	<p>市町村名: 武豊町</p> <p>従来町内を巡回する4路線だったが、路線再編を行い要望の高い半田市の大型商業施設に乗り入れる新路線に再編したことで利便性の向上につながったと思われる。また、住民団体の「武豊町コミュニティバス利用促進友の会」と協力し利用促進事業に取り組んだことも効果があったと考えられる。</p>
	結果	33,803	
	特記事項		
<p>評価の基準</p> <p>A → 年間目標利用者数を達成できた場合</p> <p>B → 年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の半数以上の利用があった場合</p> <p>C → 年間利用者数が目標の半数に満たなかった場合</p>			
		<p>市町村の所見、理由分析、認識(□)</p> <p>市町村名: 半田市</p> <p>武豊町のコミュニティバスが半田市に乗り入れを開始したことで停留所のある「イオン半田店」だけでなく、近隣商業施設への効果が上がっているのではないかと推測される。</p>	<p>市町村の所見、理由分析、認識(□)</p> <p>市町村名:</p>

複数市町村を跨ぐ系統としての役割				
指標(市町村を跨いでの利用)	利用状況及び所見(運営主体)(△)	住民の利用状況(□)	住民の利用状況(□)	住民の利用状況(□)
市町村を跨ぐ利用者数(△)	269人/月	<p>市町村名: 武豊町</p> <p>半田市民を武豊町に呼び込むための利用促進事業を新たに展開するよう検討していきたい。</p>	<p>市町村名: 半田市</p> <p>交通上の問題もなく、安全に運行しており、利用者も多いため、引き続き運行を続けてほしい。</p>	<p>市町村名:</p>
全利用者に占める率(△)	10%			
特記事項	「イオン半田店」停留所の乗車数・降車数合算の半分とする	<p>およそ1割の乗客が本停留所を利用して、市町を跨ぐ路線設計はバスの利用促進に効果があることがわかる。内訳は、乗車数より降車数の方が多い。半田市の商業施設に乗り入れており、買い物後、大きい荷物のため、タクシー等に乗り換えている利用が想定される。</p>		

(参考数値・情報) その他、運行改善や利用促進に参考となる数値・情報	
運営主体(断面輸送量、競合系統合算断面輸送量、主な停留所乗降者数等)(△)	沿線市町村(沿線の状況等、すべての沿線市町村一括記載)(□)
<p>乗降者数ともに名鉄知多武豊駅の利用者が最も高いため、駅構内の乗降環境の整備を行うよう要望していきたい。また、知多武豊駅から武豊高校東までの利用者が多いことがわかる。こうした需要を捉え、平日の通学時間だけでなく、休日の部活利用に対して積極的にPRすることで更なる利用者の増加につなげることができるのではないかとと思われる。</p>	<p>利用者の状況を見ると、病院やスーパー等の沿線にある停留所の乗降者数が多いことがわかる。特にイオン半田店の利用が多い。今後は、イオン半田店でのバス利用を促すアナウンスの実施を要請したい。</p>

3.H28年度の取り組み状況

		運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)	市町村の取組(□)	市町村の取組(□)
踏 ま え た 取 組	直近事業評価結果(△) 評価 A 改善点と事項 ルート再編に伴う新規路線であったが、問題なく運行でき、利用者の利便性の向上につながった。	年3回地域公共交通会議を開催し、関係者及び住民からの意見の聴取に努めた。また、新規事業として保育園への出張訪問を開始させ、新規の乗客層の確保に努めた。	市町村名: 武豊町 年3回地域公共交通会議を開催し、関係者及び住民からの意見の聴取に努めた。また、新規事業として保育園への出張訪問を開始させ、新規の乗客層の確保に努めた。	市町村名: 半田市	市町村名:
	その他の取組 (関係者の連携等) 町内保育園への出張訪問 武豊町コミュニティバス利用促進会の会の利用促進事業への協力	町内保育園への出張訪問 武豊町コミュニティバス利用促進会の会の利用促進事業への協力	町内保育園への出張訪問 武豊町コミュニティバス利用促進会の会の利用促進事業への協力		

4.今後の課題

課題と認識している事項			
運営主体(△)	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)
① 目標の達成状況に関する課題 ・利用者増が一過性の変化にならないよう、継続して利用拡大することが必要。 ② 公共交通ネットワークに関する課題 ・利用者の利便性を高めるためのルート・停留所・ダイヤ等の見直しを継続することが必要。 ③ 公共交通の維持に関する課題 ・武豊町からの財政投入の拡大を招かないように事業継続することが必要。	市町村名: 武豊町 ① 目標の達成状況に関する課題 ・利用者増が一過性の変化にならないよう、継続して利用拡大することが必要。 ② 公共交通ネットワークに関する課題 ・利用者の利便性を高めるためのルート・停留所・ダイヤ等の見直しを継続することが必要。 ③ 公共交通の維持に関する課題 ・武豊町からの財政投入の拡大を招かないように事業継続することが必要。	市町村名: 半田市 イオン半田店周辺は交通量が多いため、引き続き遅延や事故等トラブルがないよう指導を求めます。	市町村名:

注. 評価にB、Cがある系統、又は、輸送量が15人を下回る系統については、特に念入りに課題を探すこと。

5.今後の取組

課題に対応した取り組み、その他の利便性の向上、利用促進の取り組み				
取組時期	運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)	市町村の取組(□)	市町村の取組(□)
H29年度、H30年度 に行う取組	① 目標達成課題の対応 ・利用促進会の会の協力を得ながら、利用促進活動を継続する。 ② ネットワーク課題の対応 ・随時、ルート等の改善を継続する。 ③ 維持課題の対応 ・事業費拡大しないよう事業者選定について留意する。	市町村名: 武豊町 ① 目標達成課題の対応 ・利用促進会の会の協力を得ながら、利用促進活動を継続する。 ② ネットワーク課題の対応 ・随時、ルート等の改善を継続する。 ③ 維持課題の対応 ・事業費拡大しないよう事業者選定について留意する。	市町村名: 半田市 交通安全指導の徹底を求めるとに加え、自治体間での利用促進事業の協力体制を整えていきたい。	市町村名:
中、長期的な取組	平成32年度に名鉄知多武豊駅東口で大幅な区画整理があるため、それに合わせたルート再編等を検討する必要がある。	平成32年度に名鉄知多武豊駅東口で大幅な区画整理があるため、それに合わせたルート再編等を検討する必要がある。	本路線の状況を見ながら半田市の公共交通環境の整備の検討をしていきたい。	

注. 評価にB、Cがある系統(運営主体以外にあっては、目標の達成状況に関する評価がB、C)、又は、輸送量が15人を下回る系統については、特に詳しく記載すること。

注. 予算の都合等から明言ができないときは、「〇〇の制約があるが(〇〇の検討を要するが)〇〇の取り組みを行っていきたくと考えている」等や「〇〇の取り組み(詳細は未定であるが、例えば〇〇のような取り組み)を行っていきたくと考えている」等と記載すること。

6.早期に利用状況を改善するために行う取組(C又は輸送量15人未満の場合)

運営主体(△)	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)
	市町村名:	市町村名:	市町村名:

注. 目標の達成状況に関する評価がC、又は、輸送量が15人を下回る系統については、記載する。

注. 緊急に実施すべきことで、実施できそうなことを記載する。

通信欄 (この欄は、関係者間で付記したいことや特記事項がある場合に利用する。県協議会事務局からの依頼事項についても記載する。)
※適宜、セルの結合を変えて利用してください

